

高円宮杯2015ホッケー日本リーグ 【女子】 第4節 第8日

開催日時 9月27日(日) 会場 栗原市築館多目的競技場 天候 晴れ

【全試合結果】

第1試合 10:00~

天理大学ベアーズ	2	$\begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \\ 2 & - & 0 \end{pmatrix}$	0	聖泉大学
4 勝 0 分 3 敗 勝点 12				勝点 0 0 勝 0 分 8 敗

第2試合 11:40~

南都銀行SHOOTING STARS	2	$\begin{pmatrix} 0 & - & 1 \\ 0 & - & 0 \\ 2 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \end{pmatrix}$	1	グラクソ・スミスクラインOrange United
5 勝 1 分 1 敗 勝点 16				勝点 9 3 勝 0 分 4 敗

第3試合 13:20~

コカ・コーラウエストレッドスパークス	0	$\begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 0 & - & 1 \\ 0 & - & 1 \\ 0 & - & 1 \end{pmatrix}$	3	ソニーHC BRAVIA Ladies
6 勝 0 分 1 敗 勝点 18				勝点 19 6 勝 1 分 0 敗

ホッケー日本リーグ機構

【各試合の結果・詳細】

第1試合

天理大学ベアーズ 2 $\begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \\ 2 & - & 0 \end{pmatrix}$ 0 聖泉大学

勝点 12

勝点 0

4 勝 0 分 3 敗

0 勝 0 分 8 敗

得点	天理→49分No.4植村、59分No.10松本		
戦評	天理大のセンターパスにより試合が開始された。序盤から学生同士らしいスピード感あふれる試合展開となる。聖泉大はDFから攻撃を組み立て、天理大陣内に攻め入ろうとするが、天理大の組織的な守備により攻撃の芽を摘み取られる。12分、天理大は素早いカウンターから#7江村がドリブルで切り込みリバースシュートを打つも、これはポストに嫌われる。第2Q、16分、天理大が決定的なチャンスを作るが、聖泉大DFの好守備によりゴールラインを割ることができない。逆に聖泉大も22分にチャンスをつくるが、天理大の守備を崩せない。天理大は終了間近、立て続けにPCを得るが、聖泉大GK#1前田の好セーブに阻まれ、スコアレスで前半を折り返す。後半も一進一退の攻防が繰り広げられる。第3Q、35分に天理がPCを獲得するが、得点を奪うことができない。徐々に天理がペースを掴み、聖泉ゴールに襲いかかる。しかし聖泉も粘り強いDFで得点を与えない。第4Qついに均衡が破れる。49分天理がPCを獲得し、#4植村がヒットシュートを豪快に決め、天理が先制点をあげる。先制点をあげ勢いに乗った天理は終了間際、#10松本が追加点を奪い、2-0で天理大学が大学生対決を制した。		
テクニカルオフィサー	和田 千恵子	アンパイア	鈴木 茂明
ジャッジ	眞山あずさ、大場薫、白鳥晴好		小原 直也

第2試合

南都銀行SHOOTING STARS 2 $\begin{pmatrix} 0 & - & 1 \\ 0 & - & 0 \\ 2 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \end{pmatrix}$ 1 グラクソ・スミスクラインOrange United

勝点 16

勝点 9

5 勝 1 分 1 敗

3 勝 0 分 4 敗

得点	南都→39分No.5勝山、45分+No.3眞鍋		
	グラクソ→1分No.12山口		
戦評	GSKのセンターパスにより試合が開始された。開始直後、GSKの速い攻めから#17田中のヒットがGKの足に当たり、こぼれたボールを#12山口が押し込み、GSKが先制する。その後は、GSKがボールを支配する時間が続く。南都も徐々にペースを掴み始めるが攻めきることができない。第2Qは南都がボールを多く支配する時間が続き、20分にPC、22分にシュートを打つもGSKの守備を崩せない。攻め込まれる時間が多くなったGSKは、早いカウンターで攻撃に転じるも攻めきることができず、1-0でGSKがリードし前半を折り返す。後半も、前半の勢いそのままに南都ペースで試合が進む。9分南都がPCを獲得すると#5勝山がゴール右下にヒットシュートを決め試合を振り出しに戻す。その後も南都の猛攻が続くがGSKも粘り強い守備とGK#1川村の好セーブにより耐えしのぐ。第3Q終了間際、南都がPCを獲得。GSKの気迫あふれる守備で何度もPCとなるが、最後は#3眞鍋が強烈なスイーブシュートをゴール左下に決め逆転する。第4Q、追いつきたいGSKは前線からの積極的なプレスで主導権を握ろうとする。25分、GSKはシュートチャンスを得るが、ポストに嫌われる。南都は最後まで集中力を切らさずに、追いつくGSKを寄せ付けず2-1で勝利し、勝ち点16とした。		
テクニカルオフィサー	川守田 慶隆	アンパイア	成田 健一
ジャッジ	眞山あずさ、脇坂千尋、三浦孝彦		我妻 順子

ホッケー日本リーグ機構

第3試合

コカ・コーラウエストレッドスパークス 0 $\begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 0 & - & 1 \\ 0 & - & 1 \\ 0 & - & 1 \end{pmatrix}$ 3 ソニーHC BRAVIA Ladies

勝点 18

6 勝 0 分 1 敗

勝点 19

6 勝 1 分 0 敗

<p>得点</p>	<p>ソニー→24分No.4坂井、44分No.10中島、57分No.3及川</p>		
<p>戦評</p>	<p>コカ・コーラのセンターパスで試合が開始された。両チームとも正確なパスワークからチャンスを作り出す。第1Q、2分ソニーがPCを獲得するが、キーパーの好セーブでゴールを奪うことができない。コカ・コーラはDFからのロングボールをうまくつなぎ、流れをつくり多くのチャンスを演出するが、得点には至らない。第2Qはうって変わってソニーのペースで試合が進んだ。前線からの激しいプレッシャーからボールを奪い、コカ・コーラゴールに迫る。勢いそのままにソニーは9分PCを獲得する。これを#4坂井が豪快なフリックシュートで決め、ソニーが先制点をあげる。前半は1-0で折り返す。後半もお互い激しい攻防が繰り広げられる。しかし徐々にコカ・コーラが攻め込み、シュートを打つも、ソニーGK#1浅野のファインセーブにより得点には至らない。そこから流れを掴んだソニーが攻めに転じる。44分ソニー#18永井のドリブルで切り込みラストパスに#10中島が合わせゴールを決め2-0とコカ・コーラを突き放す。第4Qは、49分ソニーがPCを獲得するがコカコーラGK#1吉川のファインセーブで切り抜ける。コカコーラもカウンター攻撃をするもソニーの堅い守りを崩すことができない。徐々にソニーのペースになり57分ソニーがPCを獲得しこれを#3及川が押し込み、3-0でソニーが勝利する。</p>		
<p>テクニカルオフィサー ジャッジ</p>	<p>和田 千恵子 白鳥晴好、脇坂千尋、大場薫</p>	<p>アンパイア</p>	<p>藤原 真由美 山田 恵美</p>

高円宮杯2015ホッケー日本リーグ 【女子】 第4節 第8日

開催日時 9月27日(日) 会場 栗原市一迫多目的広場 天候 晴れ

【全試合結果】

第1試合 11:00～

立命館大学ホリーズ	3	$\begin{pmatrix} 1 & -1 \\ 1 & -0 \\ 1 & -1 \\ 0 & -0 \end{pmatrix}$	2	駿河台大学 LADYBIRDS
2勝 1分 5敗 勝点 7				勝点 0 0勝 0分 7敗

第2試合 12:40～

山梨学院CROWNING GLORIES	0	$\begin{pmatrix} 0 & -0 \\ 0 & -1 \\ 0 & -1 \\ 0 & -2 \end{pmatrix}$	4	東海学院大学
4勝 0分 3敗 勝点 12				勝点 13 4勝 1分 2敗

【各試合の結果・詳細】

第1試合

立命館大学ホリーズ 3 $\begin{pmatrix} 1 & - & 1 \\ 1 & - & 0 \\ 1 & - & 1 \\ 0 & - & 0 \end{pmatrix}$ 2 駿河台大学 LADYBIRDS

勝点 7

勝点 0

2 勝 1 分 5 敗

0 勝 0 分 7 敗

得点	立命→8分一谷、16分湯浅、33分佐々木		
	駿河台→9分山崎、33分小関		
戦評	立命館大学のセンターパスにより試合が開始された。第1Q、前線からのプレスが有効的に決まり、試合の主導権を握る。すると8分、立命館大学は右からセンタリングを送ると、混戦を抜け出した#17一谷が相手GKを冷静にかわしてゴールし、先制点を獲得する。しかし駿河台大学も9分、前線でボールを奪い#9山崎へパス。GKとの1対1を決めすぐさま同点に追いつき第1Qを終了する。第2Q開始早々16分、相手のクリアミスを持った#20湯浅がゴールを決め、立命館大学が再びリードを奪う。その後ペースを掴んだ立命館大学は連続してPCを獲得するも、駿河台大学のDFがゴールを割らせず前半を終える。第3Qに入り33分、駿河台大学は左サイドからパスを受けた#10野澤がゴールを決め、ゲームを振り出しに戻す。しかし直後の33分、立命館大学#18佐々木が右から強烈なリバースヒットを決め、三度勝ち越す。その後はお互いに攻め込むも決定機を作れず、第3Qが終了する。第4Qに入ると、立命館大学がPCを獲得するも、追加点をあげることができない。すると試合の流れが駿河台大学に傾く。素早い攻撃で相手の守備陣形を崩すと、連続してPCを獲得。様々なバリエーションで同点ゴールを狙うが、立命館大学のDF陣が必死にクリアし、あと1点が奪うことができない。第4Qは両チーム無得点のまま終了。試合を通じリードを許さなかった立命館大学が3-2で勝利した。		
テクニカルオフィサー	及川 美代子	アンパイア	亀田 和美
ジャッジ	山田、津田、佐藤		根岸 郁美

第2試合

山梨学院CROWNING GLORIES 0 $\begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 0 & - & 1 \\ 0 & - & 1 \\ 0 & - & 2 \end{pmatrix}$ 4 東海学院大学

勝点 12

勝点 13

4 勝 0 分 3 敗

4 勝 1 分 2 敗

得点	東海→24分田村、42分高橋、56分小寺、57分高橋		
	東海学院のセンターパスにより試合が開始された。第1Qから激しい攻防が繰り広げられた。7分に山梨学院がPCを獲得するも決めることができず、両チーム一歩も譲らない試合展開となった。第2Qに入り17分に再度山梨学院がPCを獲得するが、またもや決めることができなかった。そんな中24分に東海学院が連続してPCを獲得。3回目のPCで#15田村がゴール真ん中に華麗なタッチシュートを決め、待望の先制点をあげた。第3Qでは、追いつきたい山梨学院が34分、37分にPCを獲得するも、東海学院DF陣の守りに阻まれなかなか決めることができない。その裏を狙う東海学院は、42分#10高橋がGKと1対1となり、落ち着いて追加点となる2点目を決めた。第4Qになると、何とか追いつきたい山梨学院が猛攻を仕掛けるが、東海学院は全員が一団となってその攻撃を凌いでいた。そんな東海学院が56分にPCを獲得し、それを#22小寺がタッチシュートを決め、さらに直後の57分には#10高橋がゴールを決め、0-4で東海学院が勝利をおさめた。		
テクニカルオフィサー	及川 美代子	アンパイア	近藤 聡史
ジャッジ	菅原、佐藤、津田		野澤 達